

脊椎圧迫骨折の患者さんへ

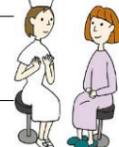
患者氏名

様

患者様用

主治医署名：

受持看護師署名：

月日(日時)	/	/	/	/	/	/	/	/	/
経過(病日等)	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日	手術後3日	手術後7日	手術後10日	退院(手術後21日)
達成目標	患者及び家族が手術・麻酔の説明を理解し同意している 手術に安全に臨むことができる	手術前の絶飲食指示が守られている	手術・麻酔から早期に回復する 痛みがコントロールできる 手術のキズからの出血がコントロールできる	状態が安定している 痛みがコントロールできる 手術のキズからの出血が多くない 食事が開始できる 肺塞栓症を発生しない	手術のキズからの出血が少ない 離床が可能となる 肺塞栓症を発生しない	手術のキズからの出血がない 肺塞栓症を発生しない	痛みがコントロールできる 手術のキズが化膿しない	手術のキズの治癒が良好で抜糸ができる	退院について患者・家族が理解する 神経症状が悪化しない
治療・薬剤(点滴・内服)リハビリ	麻酔科の診察があります	手術室で点滴を行います		点滴を行います 内服が再開となります 	問題なければ夕方の抗生物質の点滴後、点滴除去します 				薬剤師からの服薬指導があります
処置	検温させていただきます ストッキングのサイズ測定をします 必要時、体重測定を行います 術後に使用するコルセットの持参を確認します	ストッキング着用、手術衣に着替えます 装具類はすべて外していただきます 点滴の管を留置します	腰部に管が入っています マスクで酸素を口元に流します 手術後の肺塞栓症を予防するためにストッキングを着用、足の運動を行う機械を装着します 足首の運動も積極的に行ってください	腰部に管が入っています 手術のキズからの出血が多い場合のみガーゼ交換を行います ストッキング着用、足の運動を行う機械を装着します 足首の運動も積極的に行ってください	ガーゼ交換を行います ストッキングを着用、足の運動を行う機械を装着します 足首の運動も積極的に行ってください	自由に車イスに乗れるようになる、歩行器歩行が安定するまで、ストッキングを着用、足の運動を行う機械を装着します 足首の運動も積極的に行ってください	ガーゼ交換を行います	抜糸を行います	
検査	血液検査を行う場合があります		手術後、手術室でレントゲン検査をします。	血液検査があります			レントゲン写真、血液検査を行います	血液検査を行います	
活動安静度	特に制限はありません	制限はありません	体の向きを変えたいときは看護師を呼んでください	ベッド上でコルセットを装着し、頭部を挙上できます 体の向きを変えたいときは看護師を呼んでください	腰部からのドレーン(排液用の管)が抜ければ、離床を開始します。これは、(術前の神経症状や術後の全身状態により早まったり遅めになる場合があります)車椅子による移動、歩行器による歩行を目標とします。終日、腰にコルセットを着用していただきます			手術後10日目より、座位にて腰椎コルセットの着脱が可能です	
食事	絶飲食の説明をさせていただきます			食事を取っていただきます					
清潔	シャワー浴をしていただきます 男性の患者さんはヒゲを剃っていただきます	午前中のシャワー浴は可能です		全身清拭と着替えを行います (その後、シャワー浴までは毎日の予定です)	週3回 洗髪を行います			医師の診察の上、抜糸後、翌日以降はシャワーができます	入浴は退院後2週間すれば可能です
排泄	制限はありません 	手術予定時間の30分前には排泄をお済ませください	ベッド上での排泄となります。排尿用の管が入っています		手術のキズからの排液用の管(ドレーン)を抜去後から、状態に応じて排尿用の管を抜去し、車椅子もしくは歩行器にてトイレに行きます				
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	手術に向けて担当看護師から入院経過の概略に関する説明があります 手術当日は、手術が終わるまで家族に待期していただきます	静脈血栓症予防のため、ストッキング着用、下肢運動の必要性に関する説明を行います	手術後、担当医から手術に関する説明があります。	臥床時も含め、終日コルセットは着用して下さい ただし、就寝時はゆるめていただいても結構です コルセットは術後6ヶ月装着します			退院後の生活について説明させていただきます (正しい姿勢・腰椎コルセットについて)	経過が良いようなら退院を含めて今後の相談を行います	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2 入院期間については現時点で予想される期間です。